【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2006-255249(P2006-255249A)
【公開日】平成18年9月28日(2006.9.28)
【年通号数】公開・登録公報2006-038
【出願番号】特願2005-78862(P2005-78862)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３１２Ｚ
Ａ６３Ｆ　7/02　３１４

【手続補正書】
【提出日】平成21年9月10日(2009.9.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技盤に区画形成された遊技領域に遊技球を打ち込んで遊技を行う遊技機であって、
前記遊技領域に打ち込まれた遊技球を受け入れる球入口と、
該球入口に入った遊技球を誘導する誘導通路が形成された通路部材と、
該通路部材を前記遊技領域に取り付ける通路取付部材と、
前記誘導通路の球排出口から排出された遊技球を受け入れて旋回する旋回転動板と、を備え、
前記通路部材は、当該通路部材を前記通路取付部材に取り付ける取付部を有し、
該取付部は、外力によって通路部材が移動し得るように遊びを持って前記通路取付部材に取り付ける遊嵌取付部から構成され、
前記旋回転動板は、中心に向って徐々に下り傾斜した円盤形状をなすと共にその中心部分には遊技球１個分の大きさの球落下口が穿設され、
前記球落下口の下部空間には、当該球落下口を落下した遊技球を複数の球通路のうちいずれかに振り分ける球振分手段が設けられ、
前記複数の球通路は、遊技内容が有利となるように遊技球を誘導する特別通路部と、遊技球を回収する排出通路部と、から構成されることを特徴とする遊技機。
【請求項２】
前記誘導通路は、螺旋状の通路形状に形成されると共に前記旋回転動板の上方に所定の間隔を置いて配置され、前記球排出口から前記旋回転動板上に遊技球を落下排出することを特徴とする請求項１記載の遊技機。
【請求項３】
前記球振分手段は、円盤形状をなす球受回転体と、該球受回転体を回転駆動するモータと、を備え、
前記球受回転体は、その外周部分に遊技球１個を受け入れる大きさの切欠部が穿設されると共に、回転動作に伴って前記切欠部に受け入れた遊技球を前記複数の球通路のうちいずれかに振り分け、
前記切欠部は、前記球受回転体の外周に沿って一定間隔を置いて複数設けられ、
該複数の切欠部は、前記特別通路部に遊技球を誘導する当選切欠部と、前記排出通路部

に遊技球を誘導する落選切欠部と、から構成されることを特徴とする請求項１又は請求項２記載の遊技機。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
（解決手段１）
上記目的を達成するために、請求項１の発明においては、遊技盤に区画形成された遊技領域に遊技球を打ち込んで遊技を行う遊技機であって、前記遊技領域に打ち込まれた遊技球を受け入れる球入口と、該球入口に入った遊技球を誘導する誘導通路が形成された通路部材と、該通路部材を前記遊技領域に取り付ける通路取付部材と、前記誘導通路の球排出口から排出された遊技球を受け入れて旋回する旋回転動板と、を備え、前記通路部材は、当該通路部材を前記通路取付部材に取り付ける取付部を有し、該取付部は、外力によって通路部材が移動し得るように遊びを持って前記通路取付部材に取り付ける遊嵌取付部から構成され、前記旋回転動板は、中心に向って徐々に下り傾斜した円盤形状をなすと共にその中心部分には遊技球１個分の大きさの球落下口が穿設され、前記球落下口の下部空間には、当該球落下口を落下した遊技球を複数の球通路のうちいずれかに振り分ける球振分手段が設けられ、前記複数の球通路は、遊技内容が有利となるように遊技球を誘導する特別通路部と、遊技球を回収する排出通路部と、から構成されることを特徴とする。
この場合、誘導通路内を遊技球が通過する際、遊技球の流下によって通路部材が移動する。このため、遊技球の流下態様に応じて球排出口と旋回転動板との相対的な位置関係が変わり、旋回転動板上での遊技球の旋回軌跡を多様化することができ、ひいては遊技球の転動における視覚的な興趣を低下することがない。また、この構成によれば、誘導通路を形成する通路部材の取り付けに遊びを設けるという簡単な構成で遊技球の旋回軌跡が多様化できる。また、旋回転動板上の遊技球を旋回させながら徐々に中央の球落下口に誘導し、最終的には球落下口から遊技球を落下させる構成とすることができる。さらには、旋回転動板上を旋回した遊技球の送り先を複数設定することができると共に、球振分手段による遊技球の振り分け動作に対して遊技者に関心を持たせることができ、遊技内容を多彩にできる。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
（解決手段３）
解決手段１又は解決手段２において、前記誘導通路は、螺旋状の通路形状に形成されると共に前記旋回転動板の上方に所定の間隔を置いて配置され、前記球排出口から前記旋回転動板上に遊技球を落下排出することを特徴とする請求項１記載の遊技機。
この場合、誘導通路を通過する遊技球に回転方向の勢いを与えることで、旋回転動板上での遊技球の旋回速度を高めることができ、ひいては球流れにおける興趣が向上できる。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００２１】
（解決手段１８）
解決手段９乃至解決手段１７において、前記球振分手段は、円盤形状をなす球受回転体と、該球受回転体を回転駆動するモータと、を備え、前記球受回転体は、その外周部分に遊技球１個を受け入れる大きさの切欠部が穿設されると共に、回転動作に伴って前記切欠部に受け入れた遊技球を前記複数の球通路のうちいずれかに振り分け、前記切欠部は、前記球受回転体の外周に沿って一定間隔を置いて複数設けられ、該複数の切欠部は、前記特別通路部に遊技球を誘導する当選切欠部と、前記排出通路部に遊技球を誘導する落選切欠部と、から構成されることを特徴とする請求項１又は請求項２記載の遊技機。
この場合、遊技球の振り分け動作を球受回転体の回転動作によって行う構成とすることで、振り分けにおける視覚的な興趣が向上できる。また、当選切欠部に遊技球が入り込むか、あるいは落選切欠部に遊技球が入り込むかによって遊技内容が有利になるか否かが判断でき、振り分けにおける演出効果を高めることができる。